

「滋賀はひとつ」のその先へ

～感性を磨き、未来を創れ～

趣旨

1 滋賀ブロック大会、それは県内11青年会議所が一堂に集い、滋賀ブロック協議会の一
2 年間の集大成として開催されてきました。近年ではメンバーの研修や運動の活性化、交流
3 といった目的以外にも、公益目的事業を同時開催し、開催地の特性を活かし、市民の方々
4 に対して青年会議所の運動・活動を発信していく機会にもなっています。しかし、202
5 0年から新型コロナウイルスが与える社会への影響により、第50回草津大会、第51回
6 大津大会は開催を見送る決断となりました。パンデミックは人々から平穏な日々を奪い、
7 閉塞感のあるこの状態がもはや日常となりました。そして、その影響から世の中はすさま
8 じいスピードで変化している最中であり、何が正解なのかわからない、混沌とした状況が
9 続いています。そんな今だからこそ、明るい豊かな社会を目指し、戦後一貫して運動を継
10 続してきた我々青年会議所がその行動により、リーダーとして存在感を発揮するときで
11 す。

12 今大会の開催地である野洲は、かつて飢饉にみまわれた民衆を救うべく幕府の圧政に対
13 し立ち上がった「天保義民」土川平兵衛で知られるように、人道と正義を貫いた気概を持
14 ったまちです。その人間の「愛」を体現した気質は、これからの時代を創っていく我々青
15 年会議所に必要なものです。そして、「滋賀はひとつ」というスローガンとともに連綿と
16 受け継いできたこの滋賀ブロック大会をその先へと進めるため、青年会議所メンバー同士
17 のつながりのみならず、協力いただく関係者の皆様と共に運動への共感から「滋賀はひと
18 つ」を実感できる大会にしていきます。

19 これから求められるものは社会のイノベーションだけではなく、それを活用する人間と
20 しての感性であり、物質的なものだけではない精神的な豊かさ、人と人とのつながりから
21 生まれる化学反応です。我々は今大会を通じ、未来を創るリーダーとして、人々のクリエイ
22 ティブな感性に共鳴する事業をもって、参加者の心を豊かにし、周りに笑顔を広めてい
23 きます。そして、その感性とビジョンをもって多様な市民や団体の方々との協働へと繋げ
24 ていくことで、明るい豊かな社会の共創へと歩みを進め、「滋賀により良い変化をもたら
25 し、愛が溢れる湖国」の実現のため、本大会を開催します。